

令和4年2月14日

酒田市長 丸山 至 殿

酒田市環境審議会
会長 今田 哲



答 申 書

令和4年1月24日付酒環発第281号にて諮問のあった下記の計画段階環境配慮書に関する参考意見について、下記のとおり答申します。

記

(仮称) 山形県飽海郡遊佐町冲着床式洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書
伊藤忠商事株式会社

- (1) 先行の洋上風力発電事業からの最新の知見も踏まえながら、鳥類、海洋生物、景観、騒音、砂浜などの地形及び地質等の環境への負荷低減に向けて真摯に取り組むこと
- (2) 事業の位置・規模、建造物の配置・構造等については、現地確認や最新情報の収集を適切に行い、環境に対する影響の大きさを整理し反映すること
- (3) 事業の位置・規模、建造物の配置・構造等については、バードストライクや鳥類の移動経路阻害等の影響が懸念されることから、複数の専門家や研究機関等からの助言も踏まえ、鳥類に対する適切な調査、予測、評価を行い、影響の回避、低減を図ること
- (4) 藻場への影響について、生育状況や分布状況等の記載が不足しているため、最新情報を収集し、適切な調査、予測、評価を行うこと
- (5) 県、市、漁業協同組合等の関係機関やその他の利害関係者との調整を行い、地域住民に対して丁寧な説明を行い、意見を聞くこと
- (6) 想定区域周辺で稼働している既存陸上風力発電施設に、当該洋上風力発電施設が加わることによる累積的な影響についても調査、予測、評価を行うこと
- (7) 景観における主要な眺望点として、飛鳥定期航路上の定期船からの眺望を追加すること
- (8) 現在、景観評価に活用されているガイドラインは送電鉄塔のものであることから、風力発電設備を想定した新たな評価手法を検討し、調査、予測、評価を行うこと
またフォトモンタージュ法について、建造物が見えるエリアと見えないエリアを整理して明示し、夕日の見える時間や気候等の条件を変えて色々なパターンで予測評価した上で、景観の変化の影響度合いを誰もが同じように判断できるような、客観的で適切な評価手法を示すこと

- (9) 風力発電機の塗装色について、鳥類の保護など環境への影響を低減する配色で検討すること
- (10) 事業の位置・規模、建造物の配置・構造等に関する適切な複数案を提示し、環境影響の比較検討を行うこと
それができない場合は個別具体的な理由を明記し、調査、予測、評価を行うこと
- (11) 発電設備設置後、空域における鳥類への影響及び海域における生物への影響が懸念されることから、発電設備設置前後の継続的で長期的なモニタリング調査について検討し、その影響について把握する体制整備に努めること

以上